

ひびき 2024

垣生小学校だより
No.1 令和6年4月26日
Tel 089-972-1239

学校も変わります

校長 濱石 一利

先日、本屋で次のような場面に出会いました。

(客)「〇〇という雑誌は、置いていませんか？」

(店員)「〇〇は、これまで東京を木曜日に出荷し、金曜日には届いていたのですが、2024年問題の影響で月曜日以降の到着になりそうです。」

物流に携わっている人々の働き方改革に関する一コマでした。2024年問題をはじめ、今後は生活のいろいろな場面で、これまでとは違う様子が見えてきそうです。コロナ禍が明け、社会は元に戻るのではなく、より良いものへと変革していくことが求められます。学校も同じであると考えています。

校訓「考える」と学校の教育目標「みんながごきげんな学校」は変わりませんが、児童像の一つを「やさしい子」から「人を大切にする子」に変えます。(詳細は、後日学校HPに掲載する教育計画で御確認ください。)

人は人の中で育ちます。互いに大切にしよう関係であれば、学習も学校生活も充実していきます。いじめや人間関係でつらい思いをする子も減ります。全ての垣生っ子が「人を大切にすること」ができるように、私たち大人も子供を大切にしながら、今年度、教育活動を進めていきたいと思っています。また「子供にとってより良い学びを」という視点を大切にして、様々な取組を進めていきます。一部御紹介します。

時間割の見直し	月に1回程度、水曜日に全校集団下校を行います。下校中の地震等に対する備えです。集団下校は避難訓練の一つであるという視点です。
通信簿の二期制	2年生から6年生の保護者の皆様には、7月の個別懇談前に文書を発出してお知らせします。子供たちの頑張りをじっくり見ることで、今まで以上に確かな評価につなげます。また、それを生かした指導・支援を行い、学習や学校生活を一層充実させていきます。
学年集会等の実施	学年の子供たちを学年部の先生たちで見守る、という視点を大切にします。また、道徳科の授業では、学年の先生がローテーションをして指導する「ローテーション道徳」の導入に向け、準備をしています。様子については、HP等でお知らせします。
全校読書の日	学校評価で課題の残った読書についての取組です。月に1回、朝の時間を使って「全校読書の日」を行います。先日、1回目が行われました。低学年は先生の読み聞かせに夢中になり、高学年は自分の本の世界に没頭していました。

令和6年度も、どうぞよろしくお願ひします。